

ソニックデザイン 企業報道資料 2014年8月25日

ソニックデザイン、新型「WRX」専用の 純正オプションスピーカーシステムを富士重工業（株）より受注

株式会社ソニックデザイン（千葉県千葉市中央区南町 2-6-18、社長：佐藤敬守）はこのたび、新型「WRX」専用の純正オプションスピーカーシステムを富士重工業株式会社（東京都渋谷区恵比寿 1-20-8、社長：吉永泰之）より受注しました。なお、本スピーカーシステムは新型「WRX」の販売店装着オプションとして、富士重工業（株）から「Sonic Design スピーカーセット」の名称で、全国のスバル販売店を通じて販売されます。



「Sonic Design スピーカーセット」（新型「WRX」純正オプションスピーカーシステム）

*写真はプロトタイプです。実際に納入する製品は細部が写真と異なる場合があります。

「Sonic Design スピーカーセット」概要

今回納入する「Sonic Design スピーカーセット」は、新型「WRX」の純正スピーカーシステム（フロントスピーカー、リアスピーカー）との交換装着、または純正スピーカー位置への新規装着を前提に開発した高音質タイプのスピーカーシステムです。

新型「WRX」の車内で最高の音質を実現することを目標に、本システムにはソニックデザイン独自の小型高性能 77mm スピーカーユニットとアルミハイブリッドエンクロージャとを一体化したフルエンクロージャ方式ドアウーファーモジュール、新開発のアコースティックコントロールハウジング一体型トゥイーターモジュール「ACトゥイーター」などを採用。さらにネットワーク回路（音声信号を低音域と高音域とに帯域分割する回路）をウーファーエンクロージャ/トゥイーターハウジングそれぞれの内部に封入した「ビルトインネットワーク」、配線コネクタを各エンクロージャ/ハウジングに内蔵した「ビルトインカプラー」などを採用することで、車両側の純正スピーカーカプラーをはめ込む以外の配線処理作業を一切不要にし、カーディーラーなどでの取り付けもミスなく簡単・迅速・確実にできるよう設計しました。

本システムは車両側の加工を必要としないボルトオン&カプラーオンでの装着が可能で、またフルエンクロージャ方式の特徴として車両側のデッドニング（スピーカー取り付け部周辺に吸音材、防振材などを貼り付けたり、補強などを行う行為）も行う必要がないため、本システムの装着によって車両の価値を損なう心配がありません。

本製品の開発にあたって弊社では、富士重工業（株）の協力のもと、新型「WRX」の車体形状や車室内音響特性、取り付け作業性、取り付け後の耐候性などを入念に検討。それに最適化した専用スピーカーモジュール群の設計開発と最終的な音質決定、生産までを一貫して行うことで、新型「WRX」の走りの世界にふさわしいハイレスポンスで高品位なカーオーディオサウンドを完成させました。

●「Sonic Design スピーカーセット」は、新型「WRX」専用の純正オプションスピーカーシステムとして、富士重工業（株）から全国のスバル販売店を通じて販売される商品です。弊社での直接販売は行っておりません。ご購入に関するお問い合わせやご用命は全国のスバル販売店で承ります。

●「Sonic Design スピーカーセット」を構成するスピーカーモジュール群はすべて本システム専用開発したものです。単独での販売は行っておりません。

「Sonic Design スピーカーセット」主な特徴

1. クリアな高音質を実現し、車外への音漏れも防ぐ フルエンクロージャ方式ドアウーファーモジュール

フロント/リア用のドアウーファーモジュールには、スピーカーユニットをエンクロージャ（キャビネット）に収容した状態で車両に装着するソニックデザイン独自のフルエンクロージャ方式を採用しました。フルエンクロージャ方式は、スピーカーユニット背面が開放された一般的なカースピーカーと比較して次のような利点があります。

- ①ホームオーディオ用スピーカーと同様、スピーカーユニットと専用エンクロージャを一体で設計できるため、ユニット本来の潜在能力を最大限に活かすことができる。
- ②ユニット背面から放射される音圧によるボディ外板や内張りなどの共振が起りにくく、それらに起因する音の濁りや異音などの発生を抑えたクリアな音質を実現できる。
- ③走行中（特に高速走行中）の気圧変化をスピーカーユニットが受けにくくなり、実使用状態での音質や音の明瞭度をさらに高めることができる。
- ④信号待ちや静かな住宅街などで気になる車外への音漏れを抑えることができる。
- ⑤ドア内部に侵入した水分や湿気、埃などからスピーカーユニットが守られ、初期の性能・音質が長期間にわたり保たれる。
- ⑥ユニット背面が開放された一般的なスピーカーでは音質上有効と考えられているデッドニング（スピーカー取り付け部周辺に吸音材、防振材などを貼り付けたり、補強などを行う行為）が不要となり、これによる作業工数やコストの増加、不完全な作業に伴う二次的な被害（雨漏りや粘着材の固着など）、加工・改造による車両の資産価値低下などを心配することなく、共振や音漏れを抑えた高音質を実現できる。

2. 独自のマイクロスピーカー・テクノロジーを採用した 小型高性能 77mm 口径ウーファーユニット

小口径ならではの音の切れ味と、小口径の限界を打ち破るワイドレンジ再生とを両立する独自のマイクロスピーカー・テクノロジーを採用した 77mm ウーファーユニット「SD-N77E 型」をフロントおよびリア用のドアウーファーモジュールに搭載。ネオジウムマグネットを採用した強力な磁気回路やナローギャップ・モーターシステム、DMF（ディファインド・マイクロファイバー）振動板、振動板の正確な動作を支える高剛性アルミモノブロックフレームなどの採用により、サイズを超えたエネルギー感と再生レンジを備えた、俊敏で色付けのないサウンドをお楽しみいただけます。

3. 有害な反射音を拡散・吸音してスムーズな高音域を再生する ハウジング一体型トゥイーターモジュール「AC トゥイーター」

高音域の情報量や透明感、定位などを再現するうえでの障害となる、トゥイーター前面での音の回折（回り込み）や反射を防ぐ新開発のアコースティックコントロールハウジング一体型トゥイーターモジュール「AC トゥイーター」を採用しました。ウーファーと音色を統一したマイクロファイバー・ドームトゥイーター「SD-T18 型」ユニットをハウジング中央にマウントし、その周囲に取り付けたディフュージョンギャザー（半拡散・半透過層）と裏側に内蔵したアコースティックコントロールエレメント（吸音層）が有害な反射音を効果的に拡散・吸音。新型「WRX」の純正トゥイーター位置への交換装着により、スムーズで自然な高音再生を実現します。

4. 長年にわたる信頼性・耐候性を追求し、音質も向上させる 「ビルトインネットワーク」&「ビルトインケーブル」

ウーファーエンクロージャ/トゥイーターハウジングそれぞれの内部に専用のネットワーク回路（音声信号を低音域と高音域とに帯域分割する回路）を封入した「ビルトインネットワーク」、および配線コネクタを一体化した「ビルトインケーブル」を採用し、外付け式のネットワークユニットや追加の配線ケーブル/接続端子を排除。長年にわたる信頼性・耐候性を実現するとともに、ウーファー用とトゥイーター用の各ネットワーク回路を独立させることで相互干渉を排除し、音質も向上させています。

5. 純正装着スピーカーとの完全な取り付け互換性を確保した “ボルトオン&カブラーオン”の簡単な装着作業

取り付け穴、配線コネクタのいずれも標準の純正装着スピーカーと共通化することで完全な取り付け互換性を確保し、“ボルトオン&カブラーオン”での簡単な装着作業を実現。さらに、ドアウーファーモジュールと内張りとの間に挟み込むビビリ止めのスポンジ製インシュレーターもあらかじめ貼り付けて出荷するなど、従来のオプションスピーカーの課題であった配線作業や防振作業の工数増加、作業の巧拙による音質のバラツキ、および作業のケアレスミスなどを根本的になくし、オプションスピーカーを販売しやすくしました。

本件についてのお問い合わせ先
株式会社ソニックデザイン：
電話 043-209-1777、eメール info@sonic-design.co.jp

以上